



9・16 三塚塚第二次決戦

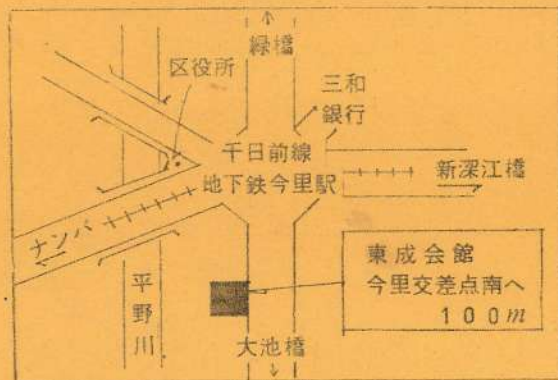
アピール 三塚塚芝山連合空港反対同盟

1968年 小川プロダクション
映画 日本解放戦線 三塚塚の夏

講演 金城 実氏 (沖縄出身 彫刻家)
「ファシズムと我々の民衆意識」

沖縄 - 三塚塚と共に!

核と戦争を許すな!



関西集会

- 5月15日(日)
午後12時30分開場
- 大阪市立東成会館 3F
- Tel. (06)972-0717
- 地下鉄千日前線(今里駅)下車
徒歩1分

515集会実行委員会

大阪市北区菅栄町 10-10
岸本ビル 関西共同企画
(06)357-4975

集会案内

- I. 基調提起
- II. 映画 「日本解放戦線 三塚塚の夏」
- III. アピール 三塚塚芝山連合空港反対同盟
- IV. 講演と討論 金城 実氏 「ファシズムと我々の民衆意識」
- V. 発言 教育労働者・在「本土」沖縄青年・学生戦線

＝ 闘争スケジュール ＝

5.22

パイプライン使用開始反対、収用法弾劾、二期阻止・空港廃絶 全国総決起集会

- 日時 5月22日(日)正午
- 場所 三塚塚第一公園
- 主催 三塚塚芝山連合空港反対同盟

5.23

石川氏不当逮捕7ヶ月糾弾! 長山中央闘争

- 日時 5月23日(月)午後1時
- 場所 明治公園
- 主催 部落解放同盟

スロージガン

1. 核と戦争の抑止前線基地強化を許すな▼
7月皇太子前御遊幸対阻止▼ 抑止解放▼

● 84年野田核兵器「マホーク」の抑止前線基地強化を許すな▼

● 東南アジア侵略及革命の誘引「国際センター」建設を許すな▼ ● 87年沖縄国体天皇と皇親対阻止

2. 三里塚二期決戦勝利▼ 侵略反革命軍事の土壌解体▼

敷地内農民と団結し「農地死守・実力闘争」を貫く▼

● 8・8パイプライン使用開始反対▼ ● 基本路線否定し条件闘争へ懸望する「一坪再共有化運動」新構

● 5・22三里塚現地へ決起し共に闘おう▼

3. ラテンアメリカ・南朝鮮・パレスチナ人民と連帯して

闘おう▼ ● ポーランド労働者の決起連帯▼

● 米帝のラテンアメリカ軍事介入を許すな▼ ● ニカラガ反革命軍を許すな▼

4. 下層労働者・被差別大衆と団結し

5. 73採山15・74赤坂を闘おう▼

● フォミストムへ向け大衆主義・排外主義運動を打ち砕け▼

● 10月「精神衛生法廃止」阻止▼ 刑法改正「一保好死」反対▼

● 部落解放▼ 「部落者」解放▼ 全人民の解放を勝ち取ろう▼

5. 日帝・中曽根の核対保・天皇・改憲を以て撃ち砕け▼

● 米帝の核戦艦「ニュージャージー」を母艦「カールビンソン」の6日日本海で抑止▼

● 三里塚地への防衛施設増設反対▼

● 天皇主義「マシメ」の容認許すな▼ 勝共連合、反憲法運動を許すな▼

● ママシメと核戦争への懸望する日帝を打ち砕く▼ 核対保新構▼

7月皇太子来沖阻止に奮起して美行美への参加を!!

全ての労働者、学生、市民、とりわけ沖繩人の皆さん!
フアシズム軍国主義の先兵である中倉根は、今、新たな
大東亜共栄圏の野望をもち、東南アジア諸国を巡って
います。

沖繩での失業率7%、サラ金地獄といった現実に見られ
るように、帝国主義支配階級は、その経済的破壊を侵略
戦争へ転化せんと必死になつていきます。

そして中倉根による「不沈空母」・「四海峡封鎖」・「日米
渾命共同体」等の発言。

一昨年、エルズバークによる「沖繩は本土防衛の捨て石」
暴露発言。

更にソ連のグロムイコによる核の存在を沖繩を名指し公
言した事実。

これらの事実は日米軍事体制の中で核容認、侵略前線
基地としての沖繩の存在を意味するのです。

その中で、自衛隊機による墜落事故や、嘉手納飛行場で
の米軍機事故、ジェット騒音、金武における米兵による
夕クシ運転子殺害、沖繩民間人への発砲事件、恒常的
に銃砲弾が飛びかい、自然は破壊されているのです。

この様な情勢の中、あの皇太子アキヒトが七月に再び「
献血推進大会」の名目で上陸しようとしています。

ウチナーンチュウの血を天皇へ献上せよというのです。
ウチナーンチュウの血を支配せんとしているのです。
これは紛れもなく私達ウチナーンチュウを再び、天皇の
赤子として侵略戦争へかりださんが為の企みに他ならな
いのです。

全ての労働者、学生、市民、とりわけ沖繩人の皆さん!
私達はこの前の大戦で沖繩人の三人に一人が殺された惨状
を忘れはしません!

ところが今、再び日帝、米帝の犠牲にさらされよう
としているのです。

今こそ、私達ウチナーンチュウの力を結集し、侵略戦争反
対、基地撤去のたたかいへ全力をあげて取り組まねば、
わがウチナーンチュウは帝国主義の核戦争によって確実に絶滅す
るでしょう。

全ての労働者、学生、市民、とりわけ沖繩人の皆さん!
天皇イデオロギー攻撃、改憲攻撃、侵略前線基地強化、
教科書検定、沖繩聖戦化、住民虐殺の事実の抹消、等の
情勢の中、沈黙は死を意味するのです。

我々ウチナーンチュウ一人一人の力を結集し、民族的怒り
をたたかいへと結実せしめ、共に立ち上ろうるはありま
せんか!! 階級深部の困窮と共に決意しよう!

献血式典粉碎!! 皇太子来沖阻止実行委(等)

連絡先 那覇市東郵便局 2053 気付

<沖繩現地の闘い>

桑原重夫氏からのアビデーレ

一九七二年の「油糧危機」から、十一月国事だ。この十一月の国事の流れの中で、「反置」の問題性は、あまのりなく頭打ちな「アビデーレ」だと思います。

手玉の想と大衆制イデオロギーをだくぬきに操作して「反置」の「アビデーレ」の支持をとりつた大衆は、この「アビデーレ」の「油糧危機」を「強国な基地の島」にしてしまっていました。いま、その軍事機能は世界最大といわれています。また「アビデーレ」の最大端を担ったといっています。

そしていま、新しい朝鮮侵略とアジア侵略のための、最大の役割を担いつつあります。チーロス・ロサンゼルスを見るまでもなく、米軍と自衛隊との「日韓的な協力体制も、そのための「反置」なものであるといわれています。「反置」は「アビデーレ」日本内閣主義の目論みだ、いま、アビデーレ「反置」の「アビデーレ」です。

けれども、私たちは、この現象に対する油糧の民衆の戦いを、根を切ったように感じている。歴史的な新しい「アビデーレ」の「アビデーレ」です。これは、三田塚農民の場合も同じで、あらゆる奇謀を排し、チーロス・ロサンゼルスを利用しての侵略に「アビデーレ」国家総動員体制「アビデーレ」にもくみこまれることなく、あくまで「油糧」の立場や農民の立場に固執して、侵略と戦争を拒否し、いまの日本の民衆の方向を鮮明に「アビデーレ」の「アビデーレ」です。

私たちは、その戦いに呼応して、新しい決意で「アビデーレ」の「アビデーレ」です。油糧の民衆と連帯し、三田塚農民と連帯し、それら、真に戦う「アビデーレ」と連帯し、新しい情勢を切り開いていこうではありませんか。

「アビデーレ」の「アビデーレ」です。

五月二十五日

5.22へ三里塚反対同盟が旗

二期着工攻撃、そして条件策動などの

反対同盟破壊攻撃を粉碎する決戦

成田市議選に勝利し、5.22へ旗を掲げる北原敏治事務局長

招 請 状

三里塚芝山連合空港反対同盟

国家権力の不当な土地収用法を許さず、弾圧にも屈服せず、金にも負けず、一坪の土地も売らず闘い続けて十八年。三里塚芝山連合空港反対同盟は、二期工区敷地内の農民を中心に結束し、「空港絶対反対」の道を闘いぬいております。私どもは、勝利への誓いも新たに、五・二二全国総決起集会への皆様の大結集を訴えます。

政府・空港公団は、航空機燃料輸送のためのパイプラインの供用開始を、今夏八月八日と決定し二期着工をうちだしました。このパイプラインの完成を契機に、反対同盟破壊のための二期攻撃をつよめています。

私たち反対同盟は、これを断固としてむかえうち粉碎する決意です。空港との「共存共栄」構想にもとづく成田用水、公団用地貸しつけなどの懐柔攻撃との闘いは二期攻防の最大の焦点であります。

反対同盟は十八年間、「空港絶対反対」の基本路線をつらぬき、買収や懐柔策を拒否してきました。二期工事着工は、同盟組織の破壊なくしてありえない。私たちの基本路線を破壊し、空港との「共存共栄」にひきこみ、「話し合い」による任意買収によつてしか二期着工は不可能であります。

私たちは、「空港絶対反対・一切の話し合い拒否」「農地死守・実力闘争」を基本に、二期阻止・空港廃港の勝利をかならずや闘いとる所存であります。

中曾根内閣は、三里塚闘争を破壊し、反戦闘争を頂点からたたきつぶすことで軍事大国化と憲法改悪をおしとそうとしています。反対同盟は反戦平和の砦をになう責務にかけて、政府・公団の組織破壊攻撃と対決し、全国の人民とともに国家権力の大反動をうち破るべく闘いぬきます。

昨年、私たちは一部幹部の条件交渉を粉碎し、成田用水による同盟分断攻撃をうち破つて勝利しました。さらに「農地死守」の基本をなげだし、成田用水推進派と一体化して空港との「共存共栄」の道に転落した、「一坪再共有化運動」を粉碎してきました。

この勝利のうえに、成田市議選の歴史的な大勝利を実現したのであります。選挙戦の勝利は、代償をもとめず闘う私たちに寄せられた、近隣住民と全国の支援勢力の共感・支持によるものと確信いたします。

五・二二全国総決起集会は、パイプラインの完成を契機につよまる二期着工攻撃、そして条件策動などの反対同盟破壊攻撃を粉碎する決戦であります。全国の皆様が反対同盟と心をひとつにし、八三年の二期着工を阻止して中曾根内閣の反動をうち破るべく、総結集されることを心から訴えます。

記

一、集會名称 パイプライン供用開始粉碎、収用法弾劾、二期阻止・空港廃港

五・二二全国総決起集会

一、日時・場所 五月二十二日(日) 正午・三里塚第一公園

集会后デモ 会場↓大森↓記念館前↓番神三叉路↓流れ解散

一、主 催 三里塚芝山連合空港反対同盟

一九八三年四月二十五日

連絡先 成田市三里塚一五

事務局長 北原敏治

TEL 0476 00062

え上たせられた後、日帝の重圧を蒙って許すものではな
い。

我々は、油糧を軍事競争上からした位置付けは、日帝
の油糧観こそ、油糧に対する陸軍過剰に費たけ、不
民族にある少数琉球民族の支配という差別思想に基づく
ものであることを見せ、陸海空軍の団結を導く、差
別と専横・侵略と排外主義の区別を、日帝と我軍と油
糧人民との対等の関係の打ち出しの闘い打ちあはせらる
る。そして、油糧「国權センター」建設をもって油糧を
「現代の東洋共栄圏」「環太平洋圏」の要に格す
る。日帝の侵略と革命路線を対決し、日・油・朝・マニ
ラ人民の階級的団結を打ち出し、たはなはた、

**戦地日皇陛下と団結して三田里
隊二期決戦へ勝利し、復讐
と革命軍軍司令部上巻と闘争**

今日、日帝の核兵器攻撃は、油糧と共に三田里に及
び、我々の強さを示している。
（前掲）
「三田里頭、空港公園緑地、中村のハイライ
ンの完成をもって」二期着上の物理的条件は整ったと
して、「三田里頭問題解決、ハイライノ（海軍路）二期
工事」の完成を打ち出し、二期攻撃への攻撃を準備し
ている。

畢竟、この八月八日には、二期工事完成時の必要燃料
供給量の確保を射程に入れたハイライノの使用が開始
されたこととなり、この中村の「三田里頭問題解決
」の方針を補充する次の様だ、「二期共有化運動」を
もって土地を回復し、策動しているのである。

更に、中田青年会議所は、二期工事着上三万人署名を
五月六日までに提出している。
そして、二期戦地日皇陛下を擁護する三田里隊と同盟は、
「二期共有化運動」をもって闘いの地を清算する系
列一脱着衣を弾劾し、「三・二七三田里現地闘争の継続
と北原事務局長の三田里隊（前掲）を勝利取り、二期戦地の
戦國体制を打ち固めている。

我々は、二期攻撃の切迫性から核兵器攻撃の重圧として
あつた日帝攻撃と、反対同盟軍としての戦國体制の
超戦争・軍事司令部を戦取しようとする。

「二期共有化運動」を導く、「農地死守・暴力闘
争」を奮闘し、三田里隊の勝利を切り拓こう、
日帝の二期攻撃の切迫性と、これをいかに補充するの
二期共有化運動「一条件闘争化策動」によって、今日三
田里は最大の正念場に入っている。

我々は、三田里二期決戦を闘つたあつて、三田里隊
軍の切り拓いた地を確保し、「三田里隊と対」一切の諸
闘いを、「農地死守・暴力闘争」「三田里隊と対」
「三田里」として基本路線の打ち出しを、より確信してい
ていく。

その後には、三田里隊が軍事競争であることと日帝の
まいたけはなはた。

三田里隊が軍事競争であることと、「三田里隊が軍事自衛
」で日帝は、スクリューをいじめる。「航空輸送機は航
空の移動展開、空挺作戦の準備と作戦用軍用機の運送
輸送を目的としている。……主要各国にわたる……有
争にわたる日帝の輸送機を運用する程度は、日帝の
り航空輸送能力を確保している」「我田里隊は、日帝
……わが国の国權、心算などの我田里隊は、日帝の
は都心軍までの自衛隊隊に、より輸送支援などの活動を行
っている。

又、三田里隊体制の「三田里」としてハイライノ打ち
出された「田里隊」では、三田里二期工事・闘争航空港
・油田拡張の三田里プロジェクトと地中港一五のジエ
ン「工業化」は、スクリューとつらつらつたり、今日二期攻撃
を預める日帝自身も、防衛局長官であった、たまたま
新東洋国際空港は、日帝にもつらつた、水軍運用としても使
用する」といっている。

三田里隊とは、日帝の軍用体制下の軍事競争を、戦後と戦
かたきとして、三田里隊が、反戦の闘いである。一
ハライノの戦いの非難は、「農地死守」の闘い、闘争
る「航空産業の再編」との闘い、や、「農民闘争」「条件闘
争」は、闘争である。

そして、今日「二期共有化運動」を推し進める脱着衣
は、三田里隊の闘い、闘いの地を清算し、三田里
隊を、二期十カ月の土地を回復し、全せんは運動への
まいたけである。

即ち、彼らは「二期はない」論をブーンと武装解除を
呼びかけ、「豊地死守はムネの工」だと豊地日豊民に
敵対し、「成田用水」推進派と共に条件闘争へと転落し
てゐるのだ。

その最大決りごとの役割を描く白向きのいたごとは、
「運動省」以下の三里塚二期工事の困難性の前にどうにも
ならないほど進んでつめられ……三里塚慶入の彼らな
りの殊勝策に見切り発車した、「日田自治会」者としてこれ
をのぞくのは武装解除の宣伝を行っている。豊地日豊民
我々はかかる「二期再共有化運動」を断じて許すわけ
にはいかない。

「豊地死守・豊地闘争」こそ勝利の道である。かかる
基本路線の下、豊地日豊民との戦闘的関係打ち崩し、二
期決戦勝利・空港解体を叫び打ちこ。

狭山・赤松・三里塚闘争の 大爆発までフアンシズムの初陣・ 日田打倒を戦取しよう

今日狭山保の一大強さを語るに、日田の「戦後民主主
義」の右片りの清野まはなるフアンシズムの戦を大豊一改
憲を目標として進めよう。

我々は、運動省の怒りに共闘し、核廃絶一改憲闘争
の爆発を叫び打ちこめよう。

全員の差別主義・排外主義を許さず、フアンシズムと核
戦をいざなう。日田との全面的な闘いを開始しようとは
ないな。

①「日米核空保協定」、三里塚復帰反運動闘争空港解体
・二期決戦勝利、②を鮮明に掲げ、③・④三里塚現地闘
争へ全力決起しよう。

⑤・⑥三里塚現地闘争、⑦⑧・⑨パイプライン使
用開始二期工事と三期攻撃の新大規模闘争に目前に
控えて、⑩運動省の闘いであり、⑪基本路線の貫徹を
もって、⑫条件交渉を本発動としてやる闘争だの、「二期再
共有化運動」を断じていかに闘争は闘争としていかに闘争
闘争、⑬・⑭・⑮現地闘争の爆発勝ち取りつ。

⑯「運動省」の苦戦を怒り「三三三」・「豊地日豊民」闘争
⑰⑱・三三三山五五五入意を「三三三」

「石川一雄氏不当逮捕」の件を論じ、「狭山差別別裁
判徹底糾弾」、「三三三闘争」・石川氏不当逮捕、特別抗告
運動勝利、⑰の闘争、狭山闘争の勝利に向か、⑱を
力に闘争、

⑲⑳・三三三氏不当逮捕二九九年、五・二九刑部
申せたい入の怒りを新大下、刑部一表撤回を闘い打ち
⑳・⑳の月「三三三闘争」を闘争しよう、
フアンシズムの文壇口、刑部「三三三」闘争を新大を
新大しよう、

4. 本集会に結果として全員の賛成へ、7月皇太子の御上陸を呼ぶ、怒りを喚ぶ種々な、日清打倒・核子技術の御譲渡の途路を積極的の目標を達成し扱へ、共に日本帝國主義打倒に向け前進しようとはありませぬ、

4. 本集会の成功を祈ります。

三田塚芝山連合空港

反対同盟より

4. 三田塚芝山連合空港の反対同盟は、昨年の8月、日・米・韓国「合同調査」で見られるように、アジアに対する侵略の基礎として三田塚芝山を今、浮上してきている。三田塚芝山というものは合同調査にならぬように、国際空港と見られるものは、浮上していることだ、明々白々と来て、軍事基地であるわけです。

この中で今、爆撃機の一貫として二期工事推進の爲に、空港公園はパイプラインの完成と同時に再びアジア侵略の危機、又は軍事の道をもつとする強化を企図している。それについて断平共産は二期工事と断平して、空港を廃絶し、及びはばきさせ。このことこそ、三田塚芝山は三田塚芝山の歴史の人は、反対同盟を唱えるその直ぐであるといふことだ。

本集会の成功を祈りますと共、5. 三田塚芝山のいは、現況に於いて調査を促進する事になつていきます。

今日の集会に集まっておられる全ての皆さんは、まず理屈にて結果して、分業行動を起して、以て条件を、それに対するものは我々の主張を示さうではありませぬ、

本集会の成功を祈って、反対同盟のメンバーを結集します。

金城 実氏より

4. 28この年号が我々沖縄人にとつて今だにどういふ意味を持つのか。毎年この時期になるとその事が甦る。かつて、祖国なき沖縄とつたわれたものだが、敗戦後我々沖縄の先輩の中に、沖縄独立党なるもの発想が打ち出された。

それは、あまりにも涙をともなうパロディとして「勝つ世から大和の世、大和の世からアメリカの世・・・」と御都合によって、ちまたに流布された人々の、その歴史を見て然り、このことであり。

それから復讐後11年を経て、今又、沖縄独立共和国憲法草案なるものが出てきた。

この歴史の流れと、我々の中に今沖縄県民は沖縄人民の生きた方向性を導き出すのに苦悩が感じられている。國を守る論理はもはや久米長、渡邊重雄事件、日本軍による住民虐殺による。沖縄人の何人にも信託されておらず、琉球処分から4・28と復讐から、5・15のあまりにも悲憤なる沖縄の歴史をかいま見ると、改めて沖縄人民の誇りと自立を求め、闘い以外にもはや沖縄人の解放の方向にはないのだけれど思つていただいである。

よって、これまでに述べた、又、言葉のないアピールは、5月15日をもって内容を再考せたいと思ひますから、早くしくお願い致します。

桑原重夫氏より

多くの人の念頭から去りかけている、「四・二八」を果敢に戦う皆さんに対して、心から敬意と連帯の意を表します。

さて、今日の集会は「中曽根ASEAN訪問阻止」がうたわれています。

中曽根の悪玉に關しては、今より言つてもないでしょうが、しかしその「悪玉」を一つ一つ暴露して、叩いていく必要があると思ひます。

今年の初の中曽根・レーガン会談は、八、九代の二帝の動向を決定づける、重要な意味を持つてきます。

一般には、新聞でも指摘された「不沈空母」や「四海
共利鎖」の発言は問題にしないようですが、よくその
時の本意を検討してみれば、その裏でも、しつこく捨てな
らぬことを言っています。たとえば、アジア地域の経
済支配をハッセル公言し、更に「ラテン・アメリカ」
にも積極的に関心を持つていくといふことです。これは
かつての「東条英機」時代の「大東亜共栄圏構想」がそ
のまま復活して、それが、更に、中米諸国にまで侵略の
視野を拡大したといふことを示すものでしょう。この本々
な日本の侵略の構想があつて、その防衛のための「不沈
空母」や「四海共利鎖」の発言であるといふ事象を見て
おかなければなりません。

アメリカは、ベトナム戦争にこりて、アジア侵略の主導
勢力を日本に委ね、今は、エルサルバドルなどを始めと
する「中・南米武力侵略」に必死になっています。この
米帝の侵略構想に警戒して、これと一体化して資本主義
による世界制覇を自命する日本の動向に対して、私たちは
その全貌を見極め、これと戦わなければならぬのです。
「日韓米連合共同体」という発言も、単なる言葉の綾で
あつたりするのではないことを明確にしておかなければ
なりません。

そうして現実の中での、中曽根の「ASEAN訪問」
です。その問題の重大性を見抜いて、今日、明確な入口
ーガンを掲げて戦う皆さんの集会に対して、全面的な賛
意を表します。

その中曽根が、日本の国内問題においても、注目すべ
き発言をすじめました。

「国家」を問題にする場合に、「軍事問題」や「経
済問題」よりも、「共同体」としての国家構想をやはり
じめたのです。つまり、なしくずした、無理やりに、
法の中の不戦条項や再軍備禁止条項を破る、^た日本政府は
今はそれを主張して「改憲」の口実にするよりも、日本
の国民に「連合共同体」や「民族共同体」意識を植えつ
けて、国家主義的構想に取り込み、それを「改憲」の口実
や侵略戦争遂行の原動力にしようとしているのです。

今の、天皇制問題や靖国神社問題のゆりも、そこに
あると思われれます。そこに、戦前も、「国家の危機」を
理由にして、あらゆる在野勢力の戦いを解体してファシ
ズムに取り込んだ「天皇制国家」の構想が再現されてい
くのです。

単なるスローガンやアジアティーンジョングレは、こ
んな日本権力の動向を見定め、全力をあげて戦つてい
く課題に迫られています。

本日集会の成功と、戦いの新しい展開を祈ります。
それぞれが戦線へ、力をつくして戦おうではありませんん
か。

●三里塚闘争・年表（反対同盟作成）

一九六二年 池田内閣、新東京国際空港建設方針決定。

一九六三年

六・二二 候補地の検討はじまる。
七・九 運輸省航空局、第二空港の基本構想まとめる。

二・二一 航空審答申（富里、霞ヶ浦など候補地に、浦安は不適当とする答申に河野建設省反対す）。政府内意見対立。

一九六四年

〇・一五 関係関係懇、富里、霞ヶ浦を最有力候補地とする調査報告。
二・二三 富里の住民、設置反対の血判書を佐藤首相に提出。

一九六五年

四・五 霞ヶ浦沿岸漁民、空港設置反対集会。
〇・九 八街町で新空港設置反対決起集会。
一・一八 関係関係懇、富里に内定。
一・二五 富里村議会で反対決議。

一九六六年

一・九 富里反対同盟結成、反対運動激化。
六・一七 地元反対運動の激化で富里断念。首相、県知事会談後、三里塚に内定。
六・二八 三里塚反対同盟結成（戸村一作委員長）
六・三〇 芝山反対同盟結成（瀬利誠委員長）
七・四 三里塚空港建設閣議決定。
七・一〇 三里塚芝山連合空港反対同盟結成。（戸村一作委員長）

一九六七年

七・二〇 芝山町議会で反対決議（二月白紙撤回）
七・三〇 空港公団発足。
八・二九 一坪共有化運動開始。
九・二五 御料牧場測量阻止闘争。
八・二六 反対同盟「あらゆる民主勢力との共闘」を確認。
八・二一 婦人行動隊を結成し「立入り測量阻止」闘争はじまる。
九・二五 老人行動隊の結成。「老いたりといえどもブルドーザーの前に立ちはたかり、決死で空港建設を粉砕する」と宣言。

一九六八年

一〇・一〇 強制外郭測量阻止闘争。共産党逃亡。
一・一三 現地総決起集会に全学連初参加。
二・一五 反対同盟、共産党排除を決定。
二・二六 反対同盟、反戦・学生と共闘確立。成田市役所前で戸村委員長重傷。
三・一〇 反対同盟、全国反戦共催の集会で逮捕百数十名。負傷三百数十名。野戦医療活動はじまる。
三・三〇 全国集会で公団分室にデモ。
五・三 土質調査とクイ打ち主体の測量開始以後七月中旬まで連日闘争。

一九六九年

七・二七 公団、一期用地の九割取得。
九・二八 工事着工阻止集会、この日より阻止闘争が連日くりひろげられる。
二・一六 建設省、土地収用法に基づき事業認定す（一〇年期限）。

一九七〇年

二・一九 第一次強制測量阻止闘争。
五・一四 第二次強制測量阻止闘争。
九・三〇 第三次強制測量阻止闘争（三日戦争はじまる）。
二・二八 建設省、特定公共事業認定。

一九七一年

一・二三 小川明治副委員長死去（一五日同盟葬）
一・三一 強制代執行にむけて地下壕を掘り泊込み開始。
二・二三 第一次強制代執行阻止闘争。
五・二二 岩山小鉄塔完成。
六・一五 駒井野の岩建設で落盤事故、重傷者出る。
七・二六 七月仮処分阻止闘争（農民放送塔の闘い）
九・一六 第二次強制代執行闘争（九・一六東峰十字路で三警官死亡）
九・二〇 大木よね宅強制収用。
一〇・一 青年行動隊三ノ宮文男君抗議自殺。
二・八 東峰十字路闘争の弾圧はじまる。

一九七二年

三・二二 岩山大鉄塔完成。
二・二二 今井総裁、七三年三月開港断念。（事実上無期延期）
九七三年

三・三一 第一期工事完成。
一〇・五 東京大集会。鉄塔共有化運動提起。
二・一七 大木よねさん死去。
九七四年

五・一〇 二期工区内立入り調査阻止闘争。
七・七 参院選、戸村一作二万票獲得。
七・三〇 公団総裁に大塚就任「開港はナムサン七六・三」と言明。
九七五年

二・二〇 二期工事用道路建設阻止闘争。
九七六年

一・八 運輸省、A滑走路の騒音区域指定。
二・二五 鉄塔破壊道路路砕阻止闘争（産土参道闘争）。
六・二 鉄塔決戦にそなえ関西二千名集会。
七・二三 鹿港「要求」宣言発せられる。
一〇・三 鉄塔決戦総決起現地集会。
九七七年

一・一七 福田首相「年内開港」指示。
四・一七 現地集会、二万余名の最大結果。
五・五 労働組合所開設。
五・五 岩山大鉄塔、抜き打ち撤去。報復戦大爆発。
五・八 抗議闘争でガス銃の水平撃ちをうけ野戦活動中の東山君致命傷（二〇日死去、一四日同盟葬）
五・二九 東山君遺骸糾弾で全国結集。
八・七 日航テスト飛行開始。
九・一九 三里塚行進隊関西を出発。
一〇・九 現地集會に一万数千名結集（行進隊合流）
二・六 岩山要塞建設開始。
二・一一 横堀要塞建設開始。
二・二三 農協移転策動粉砕の闘いへ、故大木よねの畑強制収用。
二・二六 故大木よねの畑強制収用。
九七八年

二・六 横堀要塞戦はじまる（二月要塞戦）
三・一 動労千葉燃料輸送阻止スト突入。三月開港阻止現地集会。
三・二五 横堀要塞に鉄塔建設。
三・二六 開港阻止闘争開始。管制塔占拠。横堀要塞破壊再開。逮捕者二〇〇余。重軽傷者多数出る。（三月要塞戦）
三・二八 政府「年度内開港」断念。
四・一九 特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法（騒特法）施行。
五・一一 成田新法成立。
五・二〇 「出直し開港」強行さる。
六・二三 三・二六戦士新山幸男君死去（一四日同盟葬）。

一九七九年

九・一七 現地集会。第二次一〇〇日間闘争開始
二・二四 「空港つぶせ演芸会」現地で開催。
一九七九年

三・二五 管制塔占拠一周年現地集会。
五・二〇 騒音直下の朝倉で全国集会。
六・一七 木の根風車、かんがい用水着工。
七・二 バイブライオン沿線住民、運輸省、公団に抗議行動。
七・一六 「話し合い路線」報道さる。
九・一六 現地集會で青行四項目提案。管制塔戦士奪還一〇万人署名はじまる。
一〇・二二 滑走路南北両端統一闘争（用地内十余三ではじめての集会）
一・二 戸村一作委員長死去。
一・二三 管制塔戦士奪還ハンストはじまる。
二・一五 事業認定（六九・一二・一六）一〇年の期限切れ。現地集会。

一九八〇年

二・七 芝山町議選闘争勝利。
三・一五 農協移転反対署名開始。
三・二〇 バイブライオン花見川現地で青空集会開催（反対運動高揚）
六・二六 管制塔戦士奪還ハンスト。
七・二八 バイブライオン建設ギブアップ。貨車輸送延長宣言。
八・五 大塚公団総裁辞任（中村総裁就任）。
八・七 「第四次空港整備計画」運輸省案固まる（二期工事予算算化）。
八・二八 芝山町全域二期反対署名。
九・五 辺田部落、成田用水受入れ拒否。
九・一四 バイブライオン埋設反対、貨車輸送反対をかねて花見川現地で阻止共闘・反対同盟共賛の集會開催。

一〇・九 大塚、富里、成田の住民、二期反対で運輸省抗議行動。
一〇・二二 自主基盤整備着工（辺田の実験田起工式）。
一〇・二三 一〇月対政府東京総行動はじまる（一二年ぶり成田市内デモ）。
一〇・一九 二期阻止・鹿港東京集会。

反対同盟は一坪再共有化について齟齬中
であり、なんらの決定もくだしてない。

このなかで二月十三日、三里塚芝山連合空港
反対同盟三里塚大地共有委員会なるものが
発表されたが、このような委員会は反対同盟
に存在しない。又この委員会を名めて
新共有者を募集するが如き行為は
許されない。

一〇一万円の共有代金をもって再共有化を
おこなう等、論外である。

一坪共有地は反対同盟全体のものであり、
いかなる反対同盟員といえども反対同盟の
総意にもとずかず、これを処置すること
はできない。

したがって、一坪再共有化をすすめた場合、
反対同盟と三里塚闘争全体に混乱が生ず
るのみである。名支援は反対同盟決定が
なるまで軽々しくこれに同調しないように
訴える。

二月十六日

事務局長 北原 敏 君

声 明

一月十七日の同盟実行役員会においては、一坪「再共有化」運動は
決定されず、一坪「再共有化」の委員の選出もおこなわれてはいない。

ところが二月十二日夜、反対同盟「一坪共有化委員会」を名めて、支援連
絡会議を二月十三日夜八時青行小屋で開催するという支援への連絡が
おこなわれた。そして反対同盟三里塚大地共有委員会を名づけた。

このような行為は筋の通った批判と無視し、一坪「再共有化」
運動を一方向的に強行し、反対同盟に押しつけ、同盟内を分裂させ
るに、支援団体を分裂させる行為である。絶対にゆるぎない。

一坪共有権を再分割して新共有者に譲渡し、金銭を得る、とは、この
まうな名目をつげようも、二期一坪用地の売却である。同盟の基本
原則の否定である。

われわれは「一坪再共有化」運動に絶対に反対である。
同盟は従来までの一坪共有地を農地死守の原則をつらぬき、
とらえて守りぬくものである。

以上反対同盟各団に、全支援の皆さんに訴える。

一九八三年二月十四日

天神峰

小川 嘉吉

小川 耕平

小川 幸平

加藤 清

加藤 俊彦

市東 東平

東峰

島村 良助

味有代金一ロ一万円と代書地に他に権利を移譲することを一方的にすすめることは、共同の財産を私物化する絶対に許すことのできないものである。

(2) 石井新二氏は昨年六月、バックグループとして田中徳次郎氏提供の同盟一坪用地を同盟に無断で買い、七月、白根反対同盟から同盟の名をかた、た念書を送り、現在バックグループの営利のために使用しようとしている。このような同盟員とします行為は絶対に許されない。また、このような人々が推進する一坪再共有化は絶対に反対である。

(3) ティ子あげの三里塚大地共有委員会なるものは、今なにをしようとしているのか。「三里塚大地共有運動の手引き」という、全国に配布された文書によれば次の三点である。

- (イ) 二期工事予定地内二十三ヶ所の共有地を対象に、反対派の一坪を十分割し、一ロ一万円の共有代金ととり、権利書を渡す。
- (ロ) 共有者は反対同盟と相談し、この土地を利用し使用する。
- (ハ) 資金は生活と農業の基盤づくりのため活用する

これはまぎれもない一坪共有地の販売運動である。そしてその利益は、生活と農業の基盤づくりのために使われるのです。また一方、売られた共有地は、共有者が自由に使用できるというのです。

(4) 二月十六日付で、三里塚大地共有委員会代表堀越昭平名の、「一坪再共有化の進め方に付いて」というビラが送られました。ここでは勝手に再共有化の手順すら決定しています。

しかも一坪共有地のみならず、同盟が旧地主麻生氏から購入した岩山記念館敷地を再分割し、売りにだそうとしています。これは絶対に許せぬ背任行為です。同盟の財産を一方的に処分する権利が堀越昭平氏らにどうしてあるのか。

さらに反対同盟の現共有者に対し、再共有化に代じないなら、「今後、一切共有地を売らない」との念書をだせと書いています。農地死守でがんばっている反対同盟員に対し、一坪共有地を売りに出そうとしている大地共有委員会が、なにゆえに念書をだせという権利があるのか。

このように、再共有化運動とは、ただかう反対同盟の農地死守を喧嘩せず、とうせ売られるなら、いまのうちに全国にばらばらな値段で(一坪十万円)売りつけて金を得た方が得だといわんばかりの徹底した運動であります。これは三里塚の正義と大義を売り、金を得る絶対にゆるすことのできないものです。また全国の人から反対同盟の名を使、てだまして金をまさあけるハレンチな行為です。

(5) 石井新二氏は二月十七日の青行隊の会議で、「どうしても反対する限り、同盟を三分してやる」という発言をおこない。公然と同盟の分裂を口にしました。この間の再共有化について論議が沸騰している最中に、次々と再共有化の既成事実を作ってきた石井新二氏らの行為自身、まぎれもない分断行為ですが、彼がうに公然と同盟の二分化を口にしたいま、われわれは絶対に許しません。彼らは

三、二七大会集会に向け結集中の全国の支援を前に、これには成田市議選を前に、故このように独断専行、分裂行為には、しているのか、これは反対同盟と三里塚闘争に対する挑戦であります。

私どもは、十七年間の基本路線をいまままで守り徹実に守りぬぎ、團結をかためて、敵政府、公団をおいづめていくことを主張し、たたかいます。再共有化など全く必要ありません。岩山記念館敷地は同盟代表者名義にすればそれで済みます。闘争資金は全国の人々に真剣にたたかいて許さず、同盟を分裂させる大地共有委員会の即時解散と再共有化運動の全面解消を求めます。反対同盟は團結をかため三、二七全国集會、成田市議選をたたかぬぎ、基本路線をつらぬきましよう。

右 同盟員各位並びに全国の支援の皆さまに訴えます。
一九八三年二月十九日

本部役員	天神峰	小川嘉吉
..	..	市東東市
..	..	加藤俊宣
..	..	小川有清
..	..	小川喜平
..	東峰	島村良和
..	..	萩原作治
事務局員	天神峰	小川耕平
実行役員	雨宮派	空本嘉
本部役員	空馬	三浦五郎
実行役員	加藤	平小賢
及行同盟	白根	河内三
本部役員	小曾	藤田
実行役員	住母家	藤田
本部役員	中郷	鈴木有司

三里塚闘争勝利のために、一切の分断策動 はねのけ基本路線をつらぬき、八三年も 敷地内外の固い団結でたたかいぬこう

現在石井新二氏ら一部の人は、反対同盟実行役員会の決定を一方的に無視し、同盟で一度も決定されたことのない三里塚大地共有委員会なるものを一方的に発足させ、反対同盟の名を利した一口一万円の一坪再共有化の募集を全国にむかって開始した。

これは従来までの反対同盟一坪運動とはにてもにつかぬ土地売却運動である。反対同盟のたたかひの共産財産である現一坪共有地をいかなる反対同盟員といえども反対同盟の統意なしに勝手に処分することは断じてできない。

これは同盟員の権利を一方的に奪い取るものです。しかも一坪再共有化を強行している人々は反対同盟の基本路線についてひとことも語らず、逆に否定しています。

ここにいたって、わたくしどもはあらためて同盟の基本路線の再確認を求め、八三年運動方針を提起し、同盟員各位と全支援の皆さんに訴えます。

一、八二年のたたかいと勝利の展望

三里塚芝山連合空港反対同盟は豊饒省、公団による「話し合い」と懐柔攻撃をうち破り、八二年のたたかひに勝利してきました。政府、公団と反対同盟は水と油であって、敵とのどんな「話し合い」も条件闘争の始まりであり敗北の道であります。また一方で敵から買うべきものももらって、地方で空港反対をとなえるなどという三尺のわらじをはくようなことは、結局敵の手にのって仲間を裏切ることになりました。

こうしてわたくしどもは、八二年はじめに摘発した石橋、内田問題（秘密会談）五月以降の成田用水攻撃をうち破、できました。ここに「権力にも敗けず、法にも敗けず、金にも敗けず、不屈のたたかひがうまれ、「空港絶対反対、一切の話し合い拒否」「農地死守、実力闘争」「二期阻止、空港廃港」の基本路線が改めて確認され強固にうちたてられたのです。

ひがいにあいたわたくしどもは、敵の組織切り崩しや懐柔攻撃を甘受し、裏切りを遂行せず、その根を絶つ努力をあいまいにしてはこなかったか、そうであってはならないことを八二年のたたかひの教訓にしたい。

敵の攻撃を放置するのではなく、すすんで摘発し、その根を絶つ。あるいは自主踏襲のたたかひのように敵の成田用水計画という大本を破壊させ、懐柔攻撃を同盟内に持ちこもつとする策動を許さない。こうして攻撃的なたたかひこそ重要であることに気付きました。

わたくしどもが、この基本路線をうらおもてなくつらぬきとらすならば、数千人の人民が三里塚に結集し、畑反動中曾根内閣の二期強行をうち破り、軍拡と反動を阻止する力となることを確信できます。ふり返ってみれば、「話し合い」条件策動をうち破った八二年は、同時に反対同盟が日本人民の先頭にたつて反敵、反核のたたかひをおしすすめた画期的な年となつたのであります。

基本路線のもとに同盟がみずから初心にかえ、て自己を強化し、たたかえば勝利はわたくしたちの掌中にあります。

二、基本路線と運動方針

- ◎基本路線
 - (1) 「空港絶対反対、一切の話し合い拒否」「農地死守、実力闘争」「二期阻止、空港廃港」。
 - (2) 成田用水をはじめとする一切の関連事業反対。
 - (3) 労農学の団結で闘いぬく。

- ◎当面する運動方針
 - (1) 当面するたたかひとしては、反対同盟がみずから初心にかえ、て、全国の人民に三里塚闘争の正義と、二期阻止、中曾根打倒の全国オルグを行い、三、二七全国集会の大成をかちとる。このことを手はじめに、全国千ヶ所集会、現地五万の結集をとしてたたかう。これは同時に反対同盟自身を強化するたたかひです。
 - (2) 横堀、東峰十字路弾正を全国に訴え、三千万救済募金運動を二年計画でやりぬく。
 - (3) バイパスライン完成を強行し、二期阻止にかみきううとする一切の策動にたいし、同盟が主体となり、地域住民を組織してたたかう。
 - (4) 事業決定粉砕をたたかいぬく
——パンフによる全国情宣、反動判決阻止のたたかひ、新訴訟の提起、収用券にたいする大衆的抗議闘争などを結合してたたかう。
 - (5) 成田用水粉砕、自主踏襲のたたかひを八三年度もくりひろげる。農地賃し付け攻撃にたいし自主耕作のたたかひを貫徹する。
 - (6) 騒音下農民を叩きだそうとする騒特法を敷地内、敷地外の団結で粉砕する。
 - (7) 二九六、中央道、県民まきば反対。
 - (8) 以上当面のたたかひの最重点として、三、二七全国集会の成功と、四月成田市議選勝利をめざす。

三、一坪共有化に絶対反対する

(1) 二月十二日、反対同盟一坪共有委員会なるものが、支援連絡会議を招集し、三日夜、一部支援を集めて、反対同盟大地共有委員会なる名で、同盟一坪共有地の再共有者募集（一口一万円）を開始した。これは同盟の決定も得ず、同盟の統意をふみにじ、一部同盟員が同盟の名をかた、て行つた許すまじき強断行爲である。しかも今回のように同盟の統意を得ず、同盟一坪共有地を再分割し、

時評

ASEAN各国へ 首相歴訪 これだけ約束

中韓貿易額は十億米、貿易交渉委員(ASEAN)諸国へ、アセアン歴訪から帰国した菅首相が「軍事大国にならなむ」との約束を表明すると、菅首相は、アセアン諸国に、経済協力、技術援助、文化協力、教育、人財交流の約束を、数々の約束をした。

菅首相は、アセアン諸国に、経済協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、技術援助を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、文化協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、教育を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、人財交流を約束した。

菅首相は、アセアン諸国に、「約束」を表明した。

	円借款	無償援助	文化協力	貿易	学人	その他
インドネシア	五十億圓券 五億五千圓	カンダマ山中産業出資機 五億五千圓	五十億圓券六千五 十億五千圓の協賛機	五十億圓券六千五 十億五千圓の協賛機	五十億圓券六千五 十億五千圓の協賛機	五十億圓券六千五 十億五千圓の協賛機
タイ	五十億圓券 十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓
フィリピン	五十億圓券 十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓
マレーシア	五十億圓券 十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓	五十億圓券十億五千圓

ASEAN歴訪で決まった経済協力
（朝日 83.5.11）

手がかず成田空港二期 早朝着工計画

成田青年 3万人署名運動

成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。

成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。

対ソ戦略強化の一環

菅首相は、アセアン歴訪から帰国した。菅首相は、アセアン諸国に、経済協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、技術援助を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、文化協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、教育を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、人財交流を約束した。

菅首相は、アセアン諸国に、「約束」を表明した。

菅首相は、アセアン諸国に、経済協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、技術援助を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、文化協力を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、教育を約束した。菅首相は、アセアン諸国に、人財交流を約束した。

菅首相は、アセアン諸国に、「約束」を表明した。

成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。

成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。成田青年会議所は、成田空港第二期工事の早朝着工を訴える署名運動を、成田市内中心に展開した。

千葉日報 83.5.17

米軍機
事故糾弾



F14トムキャットの事故で「基地撤去」のシュプレヒコールを基地内に向けて発せせる抗議団(嘉手納町野良)

巻き添えの恐怖ごりごり

横暴に強い怒り
激しい爆音の中、集会

嘉手納

【嘉手納】嘉手納町野良集落(野良集落)に、中部隊分(有)基地撤去に、四二八基地撤去推進委員会が、二十七日夜、米軍機墜落騒音(トキマツ)の騒音に、中部隊を中化して、抗議活動のメンバーが約百五十名、激しい爆音の中、集会を開いた。同集会は、米軍機墜落騒音(トキマツ)の騒音に、中部隊を中化して、抗議活動のメンバーが約百五十名、激しい爆音の中、集会を開いた。

「トキマツ」の騒音は、中部隊分(有)基地撤去に、四二八基地撤去推進委員会が、二十七日夜、米軍機墜落騒音(トキマツ)の騒音に、中部隊を中化して、抗議活動のメンバーが約百五十名、激しい爆音の中、集会を開いた。同集会は、米軍機墜落騒音(トキマツ)の騒音に、中部隊を中化して、抗議活動のメンバーが約百五十名、激しい爆音の中、集会を開いた。

失業率6.9%に上昇

三万三千人が失業

県内3月の調査

沖縄の労働力調査(千人・%)

年月	労働力人口	就業者	農林業	非農林業	失業者	失業者率
4	463	435	56	379	29	6.3
5	455	429	56	373	26	5.7
6	453	427	54	374	26	5.7
7	450	426	52	374	24	5.3
8	462	440	60	380	22	4.8
9	478	454	60	394	24	5.0
10	481	458	52	407	23	4.6
11	469	447	48	399	22	4.7
12	458	437	48	388	21	4.6
1	467	443	53	391	23	4.9
2	471	445	58	387	26	5.5
3	474	446	57	389	28	5.9
4	473	442	55	388	31	6.6
5	471	446	56	390	25	5.3
6	466	443	55	388	23	4.9
7	462	442	53	389	20	4.3
8	466	447	60	386	19	4.1
9	472	451	58	394	21	4.4
10	473	454	54	400	19	4.0
11	464	445	57	388	19	4.1
12	464	443	51	392	21	4.5
平均	—	446	—	—	23	4.9
57	—	477	54	398	26	5.3
58	—	473	55	389	30	6.3
3	—	480	53	394	33	6.9

【東京】県内の3月の雇用情勢は新卒者の求職がこと出たことなどもあり、この三年間たけみても最も高い失業率となり、前月より一段と悪化した。沖縄関係者が二十八日発表した三月の県内労働力調査結果によると同月の完全失業率は前月

より三千人増えて一万七千人に達した。失業率も六・九％にはね上がり、歴史上では最も高かった。前年六月(六・六％)を上回った。三月の労働力人口は四十八万人で前月より七千人(一・五％)増え、前年同月比でも六千人(一・三％)増えた。これに対し就業者は四十四万七千人で前月に

比べ三千人(〇・七％)増加、前年同月比でも一千人(〇・二％)増えた。この結果、失業率は三万三千人となり、前月に比べ三千人(〇・七％)、前年同月比でも五千(一・七・九％)と増えた。完全失業率は六・九％で前月比〇・

六％、前年同月比でも一・〇％も上昇した。また完全失業者数の五十七年度平均では三万四千人で五十六年度平均と同数となった。一方、失業率の五十七年度平均は五・一％で五十六年度平均に比べ〇・一％低下している。

三月は前月に比べサービス業の就業者が六千人(運輸・通信、電気・ガス・水道・熱供給業が三千人)それぞれ増加。逆に卸売業、小売業、金融・保険業、不動産業が千人減り、製造業も二千減った。建設業は変化なかった。

中曽根首相憲法語録

九条見直し正しい

沖繩復帰で戦後終わらない

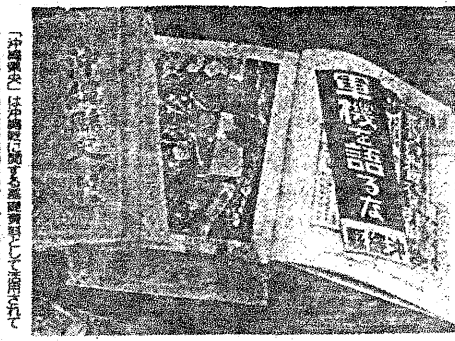
派閥結成以降
【29日9月】中曽根首相の
【29日9月】中曽根首相の
【29日9月】中曽根首相の

ひん死の地方自治

補助金行政が「放棄」に拍車

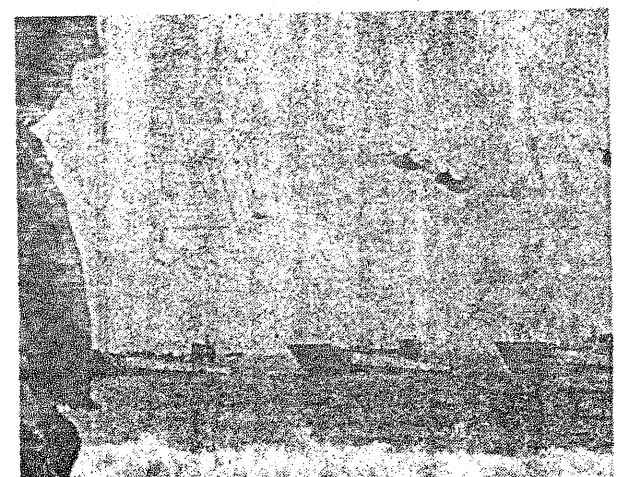
自治の形がい化
補助金行政が「放棄」に拍車
補助金行政が「放棄」に拍車

厳しい沖縄の実態



強い思想統制の色彩
教育への干渉公然化
教科書問題と平和
強い思想統制の色彩

揺れる憲法の間で



沖縄在の米海兵隊も参加し、韓国で大規模に行われた米韓合同演習の上陸作戦（3月15日、大城本社カメラマン撮影）

米戦略の前進拠点

日ごとに犠牲強いられる

米戦略の前進拠点
日ごとに犠牲強いられる
米戦略の前進拠点

中央系列化で離反

復帰闘争の経験忘れる

中央系列化で離反
復帰闘争の経験忘れる
中央系列化で離反

タフにはいはずだ。いままでも
憲法の問題について発言する
と、やむを得ず何かに悪いこと
を言ったために受け取られている
が、これは間違いない。堂々と
自分の所見を一般の国民の皆さん
に言い、勉強して下さい
ということをして上げておる。

沖合滑走路は自衛隊に

那覇国際空港建設

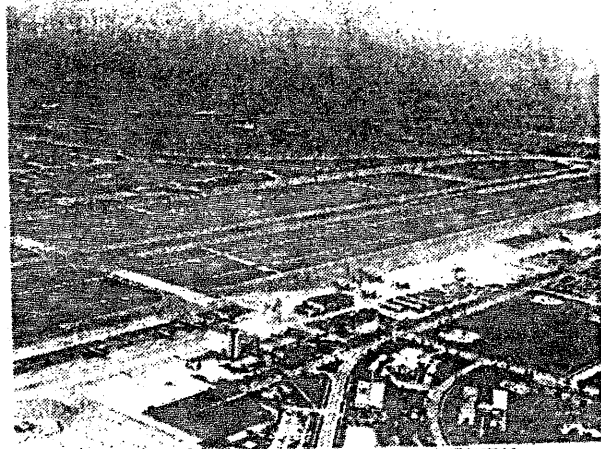


西銘知事

現空港は「民間」で

西銘「軍民共用」の考え示す

那覇国際空港建設の是非に関し、西銘知事は「軍民共用」の考えを示した。この考えは、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。また、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。また、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。



沖縄の空の危険性が指摘され、民間滑走路も進む声がある那覇国際空港

西銘知事は、那覇国際空港建設の是非に関し、西銘知事は「軍民共用」の考えを示した。この考えは、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。また、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。また、現空港の滑走路を民間で建設し、その後の滑走路の拡張も民間で行う。

（本紙）

沖縄海洋
環境観測所

シーレーン防衛に不可欠

対潜作戦で最重要

収集データ米軍へ提供も

【東京】シーレーン（航路網）防衛の要として海上自衛隊が滑走路・ホリントビエラ地区に建設する「沖縄海洋環境観測所」（仮称）について、防衛大臣（菅 義偉）は九日、防衛庁の幹部と防衛費削減にむかひ、同施設建設の必要性を説明した。施設は、防衛庁の幹部と防衛費削減にむかひ、同施設建設の必要性を説明した。施設は、防衛庁の幹部と防衛費削減にむかひ、同施設建設の必要性を説明した。施設は、防衛庁の幹部と防衛費削減にむかひ、同施設建設の必要性を説明した。

沖縄を選んだ理由について「沖縄は地理的にも、南西航路帯の重要拠点であり、その航路帯防衛のための観測所も（沖縄）に必要」としている。

同観測所の子機については、瀬長氏は「シーレーン防衛を」と述べた。同観測所の子機については、瀬長氏は「シーレーン防衛を」と述べた。同観測所の子機については、瀬長氏は「シーレーン防衛を」と述べた。

含め、日米軍事同盟強化のなかで沖縄が米国の対潜作戦の前進基地となる危険性が一層増した」と述べ、国会でさらに追及していくという。

沖縄に配備もれにくい

全日多縄

沖繩タイムズ社
社団法人 900
電話代り 0985 67-3111
私電代り 0985 2934
©沖繩タイムズ社 1983

NBC戦の防御部隊 各隊で訓練実施

在沖海兵隊が明らかに

米海兵隊の60人中隊は今年1月米海兵隊司令部(NBC)に報告書を提出し、今年1月の訓練計画(SB)では、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。



NBCの防御部隊を担った第3海兵大隊(米海兵隊)の訓練風景(1月21日付)。

NBCの防御部隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。

NBC兵器 米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。

NBCの防御部隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。

NBCの防御部隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。

NBCの防御部隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。米海兵隊は、NBCの防御部隊を在沖海兵隊に配備する方針が示された。

沖繩タイムズ

社団法人 沖繩タイムズ社
 事務所 沖縄市大東2丁目2の2
 電話 0988-27-3111
 編集局 同前
 印刷所 同前
 〒900 沖繩タイムズ社

沖繩タイムズ

昭和58年度防衛施設庁沖繩関係経費

項目	前年度(百万円)	58年度(百万円)	増減(百万円)	増減率(%)
1. 防衛施設庁関係経費	2,900	923	-2,000	-68.9
2. 防衛施設庁関係経費	3,500	1,500	-2,000	-57.1
3. 防衛施設庁関係経費	5,100	5,100	0	0
4. 防衛施設庁関係経費	22,332	20,616	-1,716	-7.7
5. 防衛施設庁関係経費	3,772	18,709	14,937	396.0
6. 防衛施設庁関係経費	13,683	19,901	6,218	45.5
7. 防衛施設庁関係経費	12,213	41,773	29,560	242.3
8. 防衛施設庁関係経費	39,880	35,171	-4,709	-11.8
9. 防衛施設庁関係経費	872	68	-804	-92.3
10. 防衛施設庁関係経費	1,725	2,313	588	34.1
11. 防衛施設庁関係経費	9,722	18,709	8,987	92.5
12. 防衛施設庁関係経費	33,258	32,384	-874	-2.6
13. 防衛施設庁関係経費	7,000	4,845	-2,155	-30.8
14. 防衛施設庁関係経費	12,560	9,052	-3,508	-27.9
15. 防衛施設庁関係経費	18,572	23,611	5,039	27.1
合計	107,572	107,572	0	0

基地強化が鮮明に 突出する思いやり予算

【本紙】防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

沖繩関係費 969億円を発表 防衛施設庁

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

防衛施設庁は十四日、昭和五十八年度予算の概算案を閣議決定した。この中で、沖縄関係経費は前年度に比べて、四割増えた。これは、沖縄の防衛施設強化の思いやり予算が、前年度に比べて、八割増と突出して増えたことが、鮮明に表れている。

米韓合同演習に沖繩から八千人

準備訓練が活発化

在沖米海兵隊

米韓合同演習「チーム・スピリット83」には、沖繩から海兵隊員八千人が参加する。準備訓練が活発化している。

米韓合同演習「チーム・スピリット83」には、沖繩から海兵隊員八千人が参加する。準備訓練が活発化している。

米韓合同演習「チーム・スピリット83」には、沖繩から海兵隊員八千人が参加する。準備訓練が活発化している。

米韓合同演習は、戦術的部隊移動、部隊展開、引き揚げの三段階から成るが、沖繩の海兵隊がいつごろ韓国に移動するかは、まだはっきりしない。

米韓合同演習は、戦術的部隊移動、部隊展開、引き揚げの三段階から成るが、沖繩の海兵隊がいつごろ韓国に移動するかは、まだはっきりしない。

米韓合同演習は、戦術的部隊移動、部隊展開、引き揚げの三段階から成るが、沖繩の海兵隊がいつごろ韓国に移動するかは、まだはっきりしない。

沖繩タイムズ

V22

次に「近代資本主義の原則である、銀行を支配するものはすべてを握るといふ事象が生れてきた。銀行業の中心は、明治十七銀行と勧業銀行の二行が沖繩の政治、経済を握り、百四十七銀行を通じて沖繩の現金は海外へ流出することになった。」(岡四四五頁)

「第一次大戦あとの不景気の大波に洗われた沖繩に、『蘇鉄地獄』が出現した。『中毒の危険のある蘇鉄の幹をけずって農民は飢えをしむことになり、中毒死した者が多かった。沖繩は蘇鉄地獄』と全国に伝わるようになった。」(前同)

「『ソコ地獄』とされた大正末期から昭和初期にかけて、移民の隆盛とともに奔流のようには海外へ流出して行った出稼ぎの労働者』は次の如き状況にあった。『第二回ハワイ移民らしい本洋戦争前までの四〇数年間に、海外移住者は延べ七万五千人にのぼり、一九四〇年の調査によると、現在人口に対する海外在留者の比率は約一〇パーセントに達している。』一九四二年(大正一三年)以降「南米への移民がクローズアップされてきた。『ブラジルとベルギーがその主要な渡航先であった。昭和期に入ると、沖繩移民の流れ

は、南米よりもむしろ南洋群島、フィリピンを主軸とするようになる。一九三二年(昭和七年)の統計によると、南洋委任統治の沖繩県出身移民は約二万五千人、邦人移民の五七〇名を占めるまでであった。』

出稼ぎの特徴は「大部分が四大工業地帯に集中していること、なかでも阪神工業地帯に集中していることである。また、女子労働者の占める比率が著わめて高いことも注目され……出稼ぎの大多数が短期出稼型の若年工場労働者であることを示している。……出稼者は第一次大戦の急激に増大した……なかでも紡績女子としての女子労働者の割合は年々増大してきている。女子若年労働者の約八〇％が紡績女子といわれ、男子は人夫あるいは工事の職工といわれが一般的であった。」(安江盛政『論述』)

「近代沖繩」一四五―一八頁
以上、日本帝国主义の国内植民地支配の必然的帰結であった。この日帝の沖繩差別支配は沖繩人の三割を死なせた地上戦の強制と米帝への沖繩の売り渡しとなって極限に達するのである。

米帝の軍事植民地支配と戦後沖繩の反米民族闘争

天皇運命と国体護持のために沖繩を戦場と捨て石とした

一九四四年七月七日、サイパン島陥落、中国を侵略していた日本軍が沖繩に送り込まれた。その頃、南緯群島の川に沿って、付近の農家の娘が日本兵に辱められる事件があった。この事件は、かつて差別と偏見の思想であった天皇イデオロギーが関東大震災に在りて朝鮮人を大虐殺したこと、一「琉球処分」以来一貫してきた日帝の天皇イデオロギーに基づいて沖繩差別が、一人の日本兵の過激な行為として露呈したものであり、また、それは敗戦処理交渉を行ないながら天皇の運命と国体護持の保証を得るために沖繩決戦を沖繩人に強制し、戦前と戦後の過程で沖繩人に集団自決を強要し、更に多くの住民を斬殺するという差別と偏見の限りをこくす事でもあった。

一九四四年一〇月一〇日、那覇は「沖繩大空襲」によって破壊された。
一九四五年三月二六日、米軍は那覇の南海に浮ぶ露岩列島を占領した。沖繩本島陸の攻撃拠点とするためである。島民約七〇〇人が自決、国民学校教師の生徒八〇人が犠牲された少年隊員が斬り込み戦に参加し全員戦死を遂げた。
一九四五年四月二日、朝の満潮時に米軍は本島中央部西岸の北谷(ちたけ)の浜に上陸した。それから三月間、沖繩全島に「鉄の嵐」が吹び荒れた。米軍は、一部で普天間(全てんま)から渡り口、海軍は、その日の内に沖繩島を南北に断ち切った。他の二部が北進し、主力は大山から我如古(がごとく)、大崎名(おおしな)、方面へ南下し、浦添城跡を軸として東西縦線に布陣をし、日本軍主力を攻撃した。真野島(まのわ)が浦添城跡を経て首里に至る戦線が沖繩の天王山であった。この防衛線が崩れた時、島田知事は日本軍に首里を提言した。砲火を浴びて島田知事に避難している多くの沖繩民間人の生命を守るためである。だが、日本軍は、「本土」防衛のため半分でも時間をかせぐのが我々の任務と称し

は、南米よりもむしろ南洋群島、フィリピンを主軸とするようになる。一九三二年(昭和七年)の統計によると、南洋委任統治の沖繩県出身移民は約二万五千人、邦人移民の五七〇名を占めるまでであった。』

これが、天皇の命をいのために沖繩人のおこなった戦後の現象であった。
米軍は沖繩占領の際、住民を協力させる「五人の琉球裁判員(しご)委員会を任命した。続いて九月、沖繩を二六に分けて市政を敷設し三三歳以上の男女に市会選挙権を与えた。そして、投票率を通知する長とする沖繩民政府(OG)が設置され、旧県議者が沖繩民政会議と改称されて知事の諮詢機関となり、皇軍、八軍山、奄美大島に交付された。沖繩民政会議と沖繩民政会議が設置された。米海軍が設置した沖繩支那の軍政機構は四七年七月米陸軍に引き継がれた。
米帝は一九四九年に朝鮮戦争を再開して沖繩を標榜の戦場拠点とする方針を固めた。米陸軍は一九五〇年新生年度に五万五千名の軍事基地予算を組んだ。
一九五〇年二月六日、ブランドレイ参謀長以下米帝の陸海空軍四西面が沖繩を訪れた。朝鮮戦争勃発の五ヶ月間である。そして開戦の前六日、三二日、米国防長官ジョーソンは、「沖繩は太平洋における国家防衛上の恒久的な要となる」と宣言した。かくして六月五日、朝鮮戦争の火蓋が切られ、米帝の沖繩支配の方向が確定した。
米軍政府は、沖繩人民を動員戦争に協力させるために、七月三日、群衆組と議員の選挙を認め、一月五日、軍政府を米民政府(G.S.A.R.)と改称した。だが、沖繩を軍事基地として支配せんとする米帝の姿勢は変わらない。
一九五一年九月四日、サンフランシスコ講和条約が締結され、翌三年四月二八日から発効することになった。日本のアルジュン号は、沖繩を切り捨て、独占資本の権威と帝國主義の自立への道を譲り出し、米帝の沖繩統治が法的に確定し、沖繩人民は白人種人の軍事支配下に永久に組み込まれることになった。
沖繩人の民族的感情が、五一年五月の「日本復興促進期成会」の結成と有権者の七三〇の署名を集める運動に発展したため、五二年四月一日、米Pがアルドサーで強制収容した。二月五日、米軍は小隊の兵士に二百名の武装隊員を出動させて五三年七月の朝鮮戦争休戦成立後八月に米自衛隊がアルドサーにクリスマス・プレゼントとして返還された。三月返還を公表し実現した。
だがその返還で民政政府副長官ヒートラー少将が五二年五月に本島の雑誌「ベガサス」に「沖繩は太平洋のシラタル」と題する論文を発表して「正補償」を主張した。即ち、①一括払い反対、②適正補償、③損害賠償、④新規施設反対、である。太平洋のキー・ストーン(要石)である沖繩本島はこれ所願「土地を守る四原則」で、後の軍用地確保に、戦略的価値の無い奄美群島は占領費削減の上から日本に返還した方が得策であるという考えに貫かれていたのである。
一九五四年、アイゼンハワー大統領の年頭教書は琉球群島の無期限占領を次の如く言明した。
「我々は韓国と相互安全保障条約を結んでいる七月まで続いた。韓島の伊豆島には三月二十四日、朝鮮で新たな武装侵襲が起ることも、それに対処する用意がある。また、我々は、沖繩の基地を無期限に保持するつもりである。」
一九五七年六月、従来民政政府副長官に代って高等弁務官が沖繩を統治することになった。
一九六二年二月、沖繩に着任したキヤラウェイ高等弁務官は「琉球に自治は有り得ない。琉球には自治の能力はない。……今の沖繩では自治は神話にすぎない」と断言した。
以上が軍政統治機構の歴史過程である。

沖繩民族闘争の大爆発と転換
島ぐるみ闘争から祖国復帰へ
「合衆国は、領水を含むこれらの諸島の領域及び住民に対して、行政、立法及び司法上の権力の全部及び一部を行使する権利を有する」という四二五五万、那覇一〇〇万が決定、島ぐるみ闘争は最

一九四四年七月七日、サイパン島陥落、中国を侵略していた日本軍が沖繩に送り込まれた。その頃、南緯群島の川に沿って、付近の農家の娘が日本兵に辱められる事件があった。この事件は、かつて差別と偏見の思想であった天皇イデオロギーが関東大震災に在りて朝鮮人を大虐殺したこと、一「琉球処分」以来一貫してきた日帝の天皇イデオロギーに基づいて沖繩差別が、一人の日本兵の過激な行為として露呈したものであり、また、それは敗戦処理交渉を行ないながら天皇の運命と国体護持の保証を得るために沖繩決戦を沖繩人に強制し、戦前と戦後の過程で沖繩人に集団自決を強要し、更に多くの住民を斬殺するという差別と偏見の限りをこくす事でもあった。

一九五四年、アイゼンハワー大統領の年頭教書は琉球群島の無期限占領を次の如く言明した。
「我々は韓国と相互安全保障条約を結んでいる七月まで続いた。韓島の伊豆島には三月二十四日、朝鮮で新たな武装侵襲が起ることも、それに対処する用意がある。また、我々は、沖繩の基地を無期限に保持するつもりである。」
一九五七年六月、従来民政政府副長官に代って高等弁務官が沖繩を統治することになった。
一九六二年二月、沖繩に着任したキヤラウェイ高等弁務官は「琉球に自治は有り得ない。琉球には自治の能力はない。……今の沖繩では自治は神話にすぎない」と断言した。
以上が軍政統治機構の歴史過程である。

「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を

「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を
「沖繩人の心を動かすに当たって」を

日帝の国内植民地支配打倒と 沖縄解放・社会主義革命の義務

民族論なのか、同祖論なのか
沖縄の民族論争の根源を問う
一九七三年五月二十五日、沖縄は再び日本の国内
植民地支配の下に組み込まれた。

その日「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、

「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、
「沖繩は日本がよびよるのを
受け止めた」といふのがつづいて、